

中央情報通信

発行日 毎月15日

大日本生産党機関紙

第1425号 令和7年12月15日号

高市内閣の国民支持率、今後に注目	本紙編集部.....	1
今後、日中の不仲で起こること		2
ワナーブラザーズが消えてしまう		3
現代人を汚染する「華夷秩序」主義		3
寄稿 本家にホームレスは減少しているのか	村上 学.....	4
高校生のなりたい職業一位は「教師」		5
韓国大統領が「高市ファン」を公言する理由		6
地方活動報告・三島由紀夫先生ご生誕百年記念慰霊祭を挙行政		7



11月16日 加古川市志方町

本 社 〒847-0871 佐賀県唐津市東大島町 19-5
電話 090-3199-8446 no.shin.7771008@gmail.com
賛助購読料 年額 3,000円 (年10回発行)
ホームページ <http://大日本生産党.com/>

発 行 所
中 央 情 報 通 信 社
編集長／谷 田 透

高市内閣の国民支持率、今後に注目

本紙編集部

「台湾有事で集团的自衛権発動」に対して、国民は支持を見せた。支持率は六十九%を超えて、台湾と日本は「同じ存立基盤にある」とする考え方が注目された。

中国共産党は慌てて、教育省から「日本留学を取りやめろ」と圧力を掛けたが、その根拠として教育相が挙げた「日本は治安情勢が悪化しており、中国人が被害者になる犯罪も増加している」というのがデタラメだと知る留学生が多く、日本

留学中の十二万人以上の中国人人はすぐに帰国する意思を示していない。これに驚いた共産党は、「日本に制裁を加えるべきだと言う世論を沸騰させろ」とメディアやネットに号令をかけるが、中共内部のポスト習近平の内紛が露見しているために、国民の側では「風見鶏が一番賢い」とする意見が主流になっている。国営メ



ディアや外交官は習近平に反旗を翻すような行動は出来ず、逆に習近平に媚を売って出世するチャンスと見る動きまで出ている。

そのような情報も全て織り込んだ上での高市発言のようだが、事情を知らない日本と台湾の国民が支持率を上げたことは面白い。福田康夫元総理は「親中派」の親玉だと自認していたそうだが、習近平は屁とも思っていないかったことが露見して、日本国内での親中派政治家の立場は悪くなる一方である。

解放軍では機関誌を通して、高市政権が台湾問題に介入するのであれば「日本全土が戦場になる」とチンプラ並みの脅しをかけてきた。解放軍内部で「反習近平」の一派があると言う情報だが、共産党指導部全体を震え上がらせている。軍部の銃口が指導部に向けられれば、即日クーデターが勃発する。習近平は健康問題を抱えていることは公然の秘密で、ポスト習近平を二〇〇人ほどの指導部で狙

日本国内での「親中派」と「嫌中派」の対立も激化しており、高市政権が国内の矛盾を解決する方法を模索しなければならなくなっている。中国共産党では伝統的に「国内矛盾は海外に転嫁する」という政治を正当だと考えているので、日本国内と台湾国内の「親中派vs嫌中派」の喧嘩を焚き付ける工作を進めると見られている。ネットでの嘯みつき合いとデモの潰し合いが顕著になれば、南西方面での海上小競り合いを覚悟しなければならなくなるだろう。

今後、日中の不仲で起るんじゃない

高市総理の発言を「待ってました」と喧嘩の口実に使った中国は、喧嘩の着地点を事前に決めていたとは思えないので、振り上げた拳は今のところ「下ろし所」は無い。下ろし所のない拳は、誰かを叩かなければ自分の頭を叩くことになる。

中国人の団体旅行を規制して日本行きを禁止に近い状況にしており、上海などからの直行便も減らしたりしている。航空運賃が値上がりすれば、自動的に旅行者は減る。中国人旅行者で金儲けしているのは一部の商売人と中国と結託しているホテルぐらいだろうと一般的には見られている。団体旅行で中国人が行く店やホテルは、中国資本が入っていたりする所が多いと言う声も聞こえるが、爆買いが無くなったので閉店した店も大阪辺りでは多いと言う現実もある。

レアアース等の原料一次産業は、それを加工する日本にはダメージだが、二次産業の部品を輸入して製品を作っている多くの国が「原料供給を止める中国が悪い」と怒り出すことが確実なので慎重だ。今度は、これを喧嘩の口実に使うかもしれないアメリカとEUの本気度から分らないので、習近平はビクビクしているに違いない。

日本ではオーバーツーリズム問題が騒がれているが、これは下品で無礼な中国人が来なくなれば日本人が助かると言う声が大きいく。修学旅行で京都と奈良に行けなかったと言う高校の話も出ていたので、そんな所でも助かる。中国人旅行者の落とす金を一兆円と考えるても、その為に様々な不都合を起こされて迷惑していた金額を差し引けば、損益はどのようなだろう。

中国側の関係者に聞くと、中国進出の日本企業は中国の景気の悪さに驚いているだろうと笑っている。中国経済は、実はガタガタな



のである。中国の中流階級である「新市民」でも、大都会で自由に使える金が激減している。つまり、国や党と結託している一部の企業関係者しか「自由に使える資金」を余分に持っている所が無い。新市民も旧市民も、大多数の貧民、農民も国に対して文句がある。経済政策の誤りは国と党の責任であることは、中国では豚でも牛でも知っている。豚や牛でも北京に押しかける可能性があるという笑い話があるので、農民や貧民が地方の党や役所を襲撃する可能性は極めて高い。

中国に進出している日本企業の多くは、三月で縮小、清算を考えている所もあると言っているが、既に手仕舞いの準備に入っている上場企業もいくつか出ている。来春の株式市場は大荒れになるかもしれない。

高市政権が「中国人が日本で不動産を買うのを妨害する」と話題になり、転売で儲けられないと分かれば、日本で不動産投資する中国人はいなくなるだろうと言われているが、北海道などで既得権益を持っている中国企業の取り扱いによって、台湾問題とは別の事情の日中トラブルが発生する可能性がある。今まで中国人に甘すぎたのは言うまでもないが、これについては中国のことわざを肝に銘じたい。

「虎を養って災いを残す」：猟師が虎を撃つた時、そばにいた赤子の虎を哀れと思って家に連れ帰った。虎は家族になつて可愛いペットになった。数年たったある夜、牙が生え揃った虎は寝ている家族皆を噛み殺した。ペットの虎が家族を殺すとは考えてもいなかった猟師は、死の直前になって「ああ、あの時に哀れと思って虎の赤子を連れ帰ったのは誤りだった」と反省したが遅かった。

日本人もアメリカ人も、この中国のことわざを噛みしめる時である。そして、虎の安楽死を真剣に計画する時だろう。

ワナーブラザーズが消えてしまっ…

ハリウッド映画の名門巨大企業のワナーブラザーズが消えるという、信じられない事態が訪れている。

「ハリーポッター」「バットマン」などで笑いが止まらないほど儲かっていると思っていたが、実際には今年七月の決算だけで一億四、八〇〇万ドルの赤字を計上しているのだ。トランプ大統領と良好な関係にあるパラマウント映画は買収を提案し、ワナー側は即「拒否」を発表した。すると今度は、ネットメディアでばろ儲けしているネットフリックスが買収の名乗りを上げた。コムキャストも買収に熱心らしい。豊富な資金の前には、名門ワナーブラザーズも軍門に下ることになるだろう。

どうやらワナーがつまづいた原因は、グループ傘下のCNNがトランプ大統領と陰悪な状態になったことのようなのだ。トランプ大統領



領は、気に入らない映画会社は潰して再編し、気に入った仲間だけでハリウッドを牛耳ろうと考えているようだ。

民主党政権下のハリウッドはチャイナマネーが買収工作で切り崩され、アメリカの愛国心を骨抜きにする映画製作に邁進していたらしい。トランプ一次政権の時にペンス副大統領が危機感を抱いて、ハリウッドを支配していたMPAAと言う映倫のような組織を再編させたり、チャイナマネーの流入窓口になっていたプロデューサー二十人ほどを追放したりしたそうだが、ハリウッドが共和党側になって保守化することはなかった。

そんなハリウッドの民主党の砦だったワナーブラザーズも、とうとうトランプの駆け引きに敗れる日が近づいたようである。

現代人を汚染する「華夷秩序」主義

「華夷秩序」と言うのは、中華思想を生み出した数千年前に、秦の始皇帝の時代なのか漢王朝の劉邦の時代なのかは分からないが、必要に迫られて生み出された「我々が最も偉い」と言う考え方である。「我々」の血筋や文化が最も高貴であり中心であるから、「我々」のいる所が中心・頂点であると言うのが中華の発想であり、裾野の周囲にいる「奴ら」は野蛮で下品な未開人であると言う前提で「東夷南蛮西戎北狄」と見下した。最も大きな理由は、「我々」は絶えず侵略・略奪の脅威にさらされていたので、「我々」の国にいる民を統治する

教化するのは中華人の使命だと優越感を作り出しておかねばならなかったのだ。

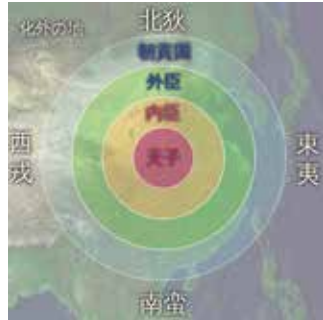
の策で、周辺は辺境で貧しく劣っているのに住民は獣のような奴らであると規定しなければならなかったのだ。「中心・頂点」に住む「我々」が最も気高いので「中華」であり、一段低い東西南北の周辺の「奴ら」は全て人間以下の存在である「夷」なのだ、だから指導・

我が国でも時の権力者は「中華思想」の原点である「華夷秩序」を取り入れて、日本は世界で最も古くて尊い国であり、神に選ばれた民族で成り立っている…と考えついた。その頂点が天皇であり、天皇の周囲が中華（中心・頂点）であると考える思想を作り上げ、天皇（玉）を担ぐ勢力が臣となって政権を司るべきだとした。「攘夷」と称して「我々は正しいので間違っている奴らは夷だから攘わねばならない」とし、無理やり「尊皇」「愛国」を導き出した。

繰り返しになるが、「我々」は唯一の正しい存在だと言う前提で、夷である思想や文化の価値観が異なる「奴ら」を敵と捉えて対立するのである。アメリカのトランプ大統領を例に引くまでも無く、「我々」は常に正しいが「奴ら」の脅威に晒され続けているのだと危機感

を煽らなければ、自己の正統性を主張する根拠が無くなるのである。

「中華」では、手土産を持って挨拶に来る「奴ら」には、豪華な返礼品と共に官位を一方的に与える。そうすると、後から返礼品目当てに挨拶に来る「奴ら」は順位が下がるので序列が出来てしまう。これを拡大すると必然的に「華夷秩序」となってくる。古代から中世までの朝鮮を見れば歴然としている。高句麗と新羅と百濟は、中華を頂点と規定して序列争いをしていることが分かるが、官僚制度の前提となる「科挙」が千年以上も独自発展したために、「奴隷頭」と中国歴史に揶揄される「両班」が中華の家来として国を誤らせて行くことになった。自らを「我々」と考えることが、中華思想の序列争いを続けていた歴史の歪みである。



連中は、どちらかの陣営に所属することを正しいと誤解することになる。

お粗末な知事選挙や参議院選挙の「ネット付和雷同勢力」の暴走を見ても、日本人はかなり寛容精神に欠けた独善国民に成り下がって来たようだ。過ちや誤解はあっても、それが解ければ和解するのが日本人の美德の一つだったと思うが、最近のネット社会では「聞く耳を持たない」ことが「ブレない」と評価されたりして、自ら夷となる道を進むことに「イイね」が付けられている。

愚連隊でも不良集団でも、「我々」の脅威になる警察や他団体を「奴ら」として敵対するが、国家内で革命・軍事クーデター・暴力的政権転覆が起きればどんな結果になるかは、世界を見渡せばいくらでも見本は転がっている。指導者が学ばないから、道を間違えてばかりいるのである。

これは何も古典歴史の話だけではなく、現代でもネットの世界を主舞台にして猛威を振るっている。自分たちと同じ意見で価値観を認め合う側を「我々」と言う中華にする一方で、異なる意見や主張をする劣悪な「奴ら」は夷なので殲滅するべきだと言い始めた。「我々」は現状の多数派であり保守派であるが、革命的な転換があれば明日から「奴ら」と入れ替わってしまうのである。そんな恐怖を歴史は教えているが、寛容の精神を持ち合わせない

「始まりのあるものには終わりがある」と言う事だけが、唯一の絶対である。その他の絶対と言う言葉や言い回しは、寛容精神に欠けた指導者のペテンであり詐欺商法なのである。「華夷秩序」を作って君臨し、自分たちを「我々」として最上位に置き、最も尊い・古い・気高い存在を自分たちが担ぐ神輿だと主張することは、完全に「中華思想」なのだと思わなければならない。

寄稿

本当にホームレスは減少しているのか

「兵庫通信」代表 村上 学

昔は「乞食」と呼んで、食べ物を民家に乞う、つまり施しを求める不逞者を人別の最下層にしていた。それでも都市の乞食は集団を作って組織化されていたり、「地見、町見、人見」と言われる御用仕事の下請けをする連中もいたりして、かなりの闇勢力だった時期もある。正統な乞食とは「親の代から戸籍も定まった職も無い」人を指すが、奈良時代頃からの由緒を持つ乞食の家柄も存在していたようで、昭和三十年代に最後の頭領が死んだそうだが、

全国を網羅する乞食の組織があったと言われている。乞食とは、仏教と貴族社会の隙間で生まれた「疎外者」で、エタやヒニンのように権力側に管理される立場にはなかった。しかし、戦後の乞食は孤児・傷痍軍人・戦争被害者等が中心的に語られるようになり、経済成長から見捨てられたり振り落とされた人が、乞食や世捨て人に転落する頃に「ホームレス」という言い回しで語られるようになった。昭和四十年代の終盤から、町で見かける

のはホームレスと言う新参被差別民なのである。

二十一世紀になって、先進国ではホームレスは国の政策が間違っているから生まれたと言われるようになり、日本でもおっ取り刀でホームレス調査が実施された。二〇〇三年に発表された報告では、全国で顕在的ホームレスは二万五、二九六人であるとされている。前年には「ホームレス自立支援法」が制定され、人権団体などが自治体と一緒にったり敵対したりしながらもホームレス支援を始めていた。そんな中での実態調査である。

生活保護要件の緩和によって、ホームレスが自治体の窓口で支援員の協力によって住民票を得て生活保護を貰えるようになり、今春の調査ではホームレスの顕在実数は二、五九一人にまで激減していた。

ところが、「顕在するホームレス」というのがポイントで、潜在する、つまり見えないホームレスは過去からもカウントされていなかったのである。

公園や河川敷にブルーシートで雨露しのぐホームレスと言う姿だけを、勘違いするように見せられていたのかもしれない。住居不定者で無職と言う存在は、ネットカフェに行けなくなれば野宿者に早変わりし、今や全国に八〇〇万軒と言われる空き家に忍び込んで寝泊まりしている内に、潜在ホームレスになっているのである。これを綿密に実態調査する



ことは難しいが、「予備軍」と捉えるのか「潜在ホームレス」と捉えるのかで役所の担当も違ってくるだろう。

神戸市では、最大で三五五人とカウントされていたホームレスの人数は二十三人にまで激減していると嬉しい発表をしていたが、ここにカウントされていないかった白骨遺体が空き家で発見される事態が数件続いたそうだった。昔は行路死亡者として「野垂れ死」の悲惨な遺体は、警察が「マグロ」と言う隠語で呼んで処理をしていた。今は時代が違うので、県や市が処理する案件になっている。ホームレスの死者と身寄りのない独居死亡者の線引きは明確なので心配はいらないが、どこの誰か分からない白骨遺体が空き家で発見されて、長期間生活していた形跡があれば問題は複雑だ。

「ホームレス自立支援法」には、全国の自治体は都市公園・河川・道路・駅舎・その他施設の五区分を調査することに決められているが、所有者のある空き家は対象になるのかどうか難しく、実態調査は抜け穴だらけなのかもしれない。

防犯カメラが至る所に設置されるようになった現代だが、四年前には明石市で解体前の図書館屋上で白骨遺体が発見されたこともある。防犯カメラ設置の盲点は、こんな所でも感ずることが出来る。潜在化するホームレスを見つけることは、逃走犯を見つけることより難しいかもしれない。

高校生のなりたい職業一位は「教員」

ベネッセ教育研究所と東大社会科学研究所が共同で調査しているものだが、ここ十年連続で高校生のなりたい職業は「教員」が一位になっている。

同一の家族を追跡して同じ項目を調査するもので、小学校四年生から高校卒業までの期間の変化が分かるようになっている。

小学生の一位はプロスポーツ選手だが、三位には教員が登場する。ところが中学生になれば教員が一位になる。高校生は教員、医師、

看護師、保育士などの職業が上位を独占する。日本の将来は明るいと勘違いしそうな結果だが、実際の公立学校の教員採用試験競争率は低下の一途である。

「労働環境や処遇の改善を進め、教員の魅力を高める必要がある」と言うのはベネッセ教育総研だが、教員の魅力が無いことに高校生はいつ気づくのか調査されていないのは疑問である。

現在は教員の倍率はゼロだと言う関係者も

いるぐらいで、特段の問題さえなければ誰でも教員になれる時代だと言う笑い話もあるが、少子化が進む中で教員は減少しても大丈夫だろうと言う説がある。関西のある学校では、外国人の生徒に日本語を教える難しさが大問題だと現場の声があり、文部科学省だけでなく政府一丸で取り組むようになる計画があるそうだ。

今年の一月一日時点での住民基本台帳によれば、全国一、八九二市区町村の中で外国人住民比率が一割を超えている所が二十七市区町村ある。北海道の占冠村が最高で三六・六%、次が赤井川村の三五・三%になっている。韓国朝鮮人が半数を占めると言われる大阪の生野区は二三・三%、ブラジル村があると言われる群馬の大泉町は二一・三%、外国人居留

地が町の中心にある神戸市は一〇・七%、外国人の子供がどれだけ増加するかは神のみぞ知ることだろう。つまり、教員がどれだけ不足するのは分らないが、外国人の住民比率はまだ上昇するだろうから前途多難だ。

教職員組合も組織率は激減の一途であり、日教組も壊滅の危機にあるそうだから深刻だ。ベネッセの調査にある通り、高校生が教員を目指したいのなら、何故「教員になろうとする若者は減少しているのか」を国民的問題として考えても良いのではないだろうか。高市政権も、優先順位を上げるべきであろう。

韓国大統領が「高市ファン」を公言する理由

反日運動を長らく指導していた李在明大統領が、高市総理とハグしたり笑顔で握手したりして、「親日になったのではなく親高市なのだ」と平然と言いつ出したことに、韓国国内の反日勢力は困り果てている。

G20の全員写真の時には、高市総理と李強首相が笑顔で目を合わせるかどうかばかりクローズアップされたが、実は高市総理と李在明大統領が「どれほど親密なパフォーマンスをするか」が注目事項だった。トランプ大統領のいない所でも、「アメリカ・日本・韓国の三国安保体制」が有効に働いているかに、中国を筆頭に世界の多くが注目していたのである。

韓国国防部は、北朝鮮がロシアから大型高速ドローンを輸入する計画をとてども緊張して見ている。時速が五〇〇kmの大型ドローンと言いなが



ら、爆弾を抱えた無人戦闘機である。これを韓国との国境に配備するという話があり、迎撃ミサイルを国境に並べられずにソウルで迎撃する体制では、とても国民世論を政権はまとめきれない。在韓米軍は、攻撃を受けてか

らしか動かないとトランプに言われ、「韓国は日本と仲良くして自衛隊の支援を受けなければならぬ」と念を押されたことが響いており、李在明の反日政権が露骨に反日で動けば「クーデターの危険性が高まる恐れがある」と態度を決めている。

それは取りも直さず、韓国政権は日本自衛隊と共同して北朝鮮に対抗すると言うアメリカの希望を反映したものであり、李在明大統領は「ポピュリズム政治で国民が求める方に政策を変える」と言う言い回しで、国内の左派を暫く遠ざけることにした。

自衛隊では、アメリカ軍の指導の下に離島上陸訓練や夜間降下訓練などの「西南諸島有事」「台湾有事」そして「韓国有事」に備えられる技術を取得する活動が続いている。

韓国の反日勢力は、「大統領は高市を好きだと言っている」と毒を抜かれた状態である。それが中国共産党のポスト習近平の抗争で、解放軍がロシアや北朝鮮と協働できない事態に陥っている。解放軍幹部の中に、反習近平の勢力の指示を受けている可能性が



ある人物もいるそうで、アメリカ軍と解放軍が真つ向勝負になると勝率は二〇%程度という分析の下では「半島有事」に介入してアメリカ軍を引き込むような無謀な賭けはしてはならないと言う判断である。

韓国の国内事情も、中国の国内事情に比べれば軽いものだが、反日運動の裏が中国共産党だと言う事情を勘案すれば、今回は高市総理の「漁夫の利」と言えるかもしれない。

地方活動報告 三島由紀夫先生「三・一五」誕生百年記念慰霊祭を挙

去る十一月十六日、憂國忌二十五日に先立つて、三島由紀夫先生の御霊をお慰めし、烈士の志を偲ぶことを目的として、先生の本籍地である加古川市志方町・玉の緒地藏尊の境内に建つ慰霊碑前に於いて、「三・一五誕生百年記念慰霊祭」を挙致しました。私どもがこの地にて、忘れ去られようとしていた慰霊碑周辺清掃を始めて、すでに三十年を過ぎます。

このまま行つたら日本はなくなつて、その代はりに、無機質な、からつぽな、ニュートラルな、中間色の、富裕な、抜け目がない、或る経済大國が極東の一角に残るのであらう

三島先生は、昭和四十五年まさに決起の年、産経新聞紙面で右のように語られました。現在の我が国はまさにお言葉そのままの現状です。否むしろ、それよりも酷い有様と言つても過言ではありません。

例年、数人ほどで清掃をして帰るばかりですが、今回は三・一五誕生百年、ささやかでも正式の祭祀を行なひ、改めて御霊を鎮め志ある方々に一人でも多く集まって頂いて語り継ぎ、また明日からそれぞれの道にて世直しの志を以て歩んでゆかむと存する次第でございます。

この日は、晩秋に拘らず暑いほどの陽気の中、三十名以上の方々にお集まりいただくことが出来

ました。

慰霊祭後の直会では、それぞれ持ち寄りの弁当を使い、楽しく歓談していただきました。山々に囲まれた長閑な場所、現下日本への思いを語られる方、想い出話に花を咲かせる方、それぞれが和やかに時を過ごしておられたと思います。

末筆になりましたが、とりわけ予め清掃を済ませて頂いた上、国旗を掲揚し、有難いことに御神酒やビールまでご用意下さった、地元自治会(?)の石坂保様。並びに祭祀の齋主として手弁当でご奉仕下さった紀之崎剛様とそのご一統様がたには、この場を借りて深く感謝しお礼申し上げます。

合掌

慰霊祭式次第

一	修 禊	齋主：紀ノ崎 剛
二	齋主一拝	
三	献 饌	
四	齋主祝詞奏上	
五	英霊の声 合同奏上	先導：村上 学
六	齋主 玉串奉奠	
七	参列者 玉串奉奠	
八	撤 饌	
九	齋主一拝 (全員、齋主に合わせて)	
十	居合奉納 運籌流剣術	紀ノ崎 剛 他一名
十一	吟詠奉納 辞世の句	谷田 透
	直 会	

